

# 「鳥栖三養基地区退院調整ルール」運用に係る入退院連携状況調査結果報告

## 調査概要

調査期間

令和元年12月1日～12月31日

(ケアマネジャー)

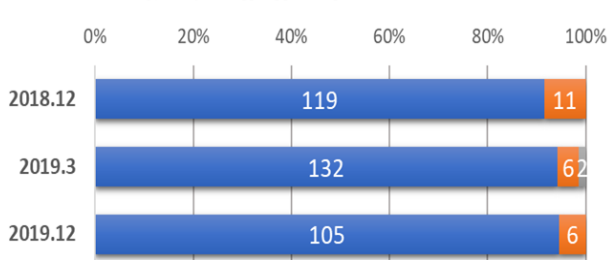
調査対象

地域包括支援センター(7)、居宅介護支援事業所(35) 合計42事業所

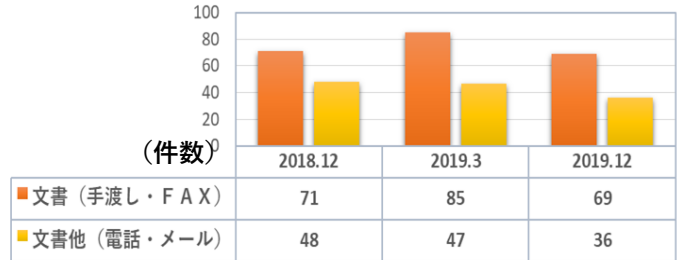
回収率

全体29(66.7%) 居宅介護支援事業所22(62.8%) 地域包括支援センター7(100%)

### 入院時の情報提供



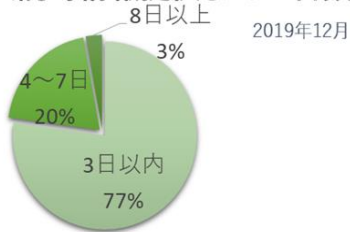
### 入院時の情報提供方法 (情報提供ありの内訳)



情報提供は92%⇒94%⇒95%と増加傾向

文書による情報提供は 60%⇒64%⇒66%と増加傾向

### 入院時情報提供までの日数



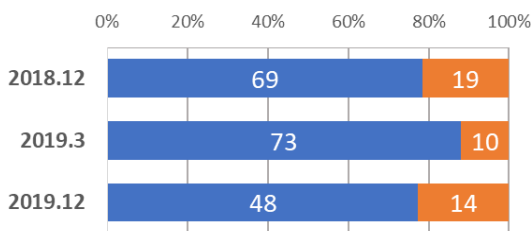
### 入院時情報提供の内訳の日数



情報提供までにかかる日数は7日以内が97%

情報提供のうち文書では半数は3日以内 2/3が7日以内

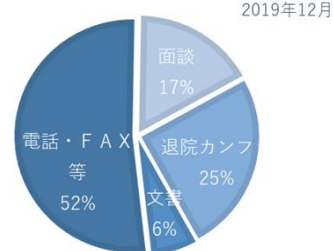
### 退院時の情報共有



### 退院調整率

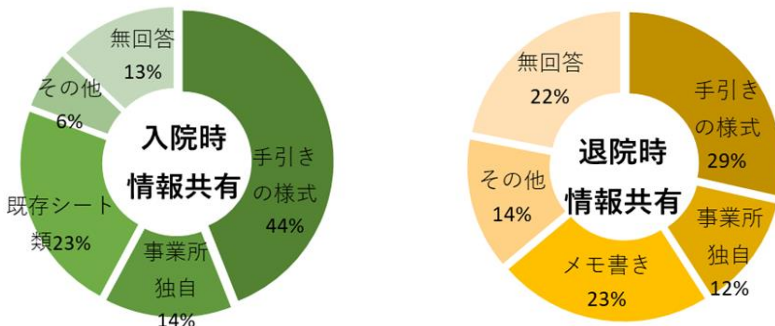
78.4%  
88%  
77.4%

### 退院支援の方法



入院前から担当ケアマネがいる場合での病院との退院時調整を行っている割合は8割前後

### 病院との情報共有に用いる様式について (複数回答)



★入院時は受け取る側を考えた情報の内容と早めに提供できる方法を選択していると思われる

★退院時は、ケアプランや情報収集するポイントなど個別性があるため、ケアマネ独自の方法になる傾向があると思われる

### <自由記載> 退院調整ルールの手引き及び運用について、事業所で行った又は行っている情報共有や周知等の取組み

- ・手引きを各自ケアマネが熟読し業務を行っている。各自が手引きを持っており必要な都度確認している。
  - ・ミーティング時に手引きについての勉強会を行い共有した。定期カンファレンス時に報告し周知を図った。
  - ・閲覧しやすい場所に置きいつでも確認できるようにしている。
  - ・広報誌への掲載、地域での集まりの際にチラシを配布。
  - ・入院の場合は、できるだけ顔を合わせ情報提供することが退院時の対応がスムーズと考え、病院との調整に努めている。
- 退院では、入院期間が不明の場合や目途が決まらない場合でも、時期を見計らい状況確認の連絡をするよう心がけている。